

I. 「学生による授業評価 2007」の概要

I-1. 目的

本学では、学生の授業に関する理解の状況や満足感等を把握することによって、教育内容や教授方法及び学習支援システム等の改善に資することを目的とし、平成17年度より自己点検・評価の一環として学生による授業評価を導入している。1年目の平成17年度は試行的な意味を持たせた内容であったが、2年目の平成18年度からは本格的な授業評価調査として実施している。3年目となる今年度は、昨年度からの継続性を持たせ、昨年度と同様の調査内容で実施し、対象科目も学部と大学院の両方を対象としている。

以下、その量的分析結果及び自由記述の内容を報告する。

学生による授業評価は、個々の科目に対する学習者の視点からの具体的で詳細なフィードバックを得ることを企図して実施される調査である。その主な目的は、次の通りである。

- (1) **個別授業科目の改善支援**……個々の科目を受講者がどのように学習し、どう評価しているかを項目ごとに把握することにより、次の科目改訂等に際して改善すべき点の発見を容易にするような資料を提供する。
- (2) **カリキュラム全体の改善支援**……専攻または領域、プログラム（群）における、より効果的なカリキュラム構成や水準のバランス等を検討する上での有効な資料を提供する。
- (3) **認証評価に関わる資料提供**……大学に対して社会的に強く求められている定期的な認証評価に際しての重要な資料を提供する。

しかし、一般の大学とは異なり、放送大学においては授業評価の結果をそうした目的にストレートに用いることが必ずしも容易でない。そこには、次のようないくつかの放送大学に固有の条件と特殊事情があり、結果の利用には一定の留保が求められることになるからである。

第1に、放送大学では、収録された放送授業を4年間継続して放送する原則になっていることである。そのため、たとえ授業評価で改善点が明確に示唆されたとしても、即座にそれを改善する（つまり、評価の次年度に改訂版を収録する）ことが非常に難しいのである。

第2に、放送大学の主任講師は客員であることが多く、その場合、必ずしも科目の改訂を同一教員がするとは限らないことである。主任講師が交代すると、科目の内容や構成が変わってしまう場合があるため、前科目に対する評価は往々にして参考程度の意味

しか持たないことになるのである。

第3に、放送大学は公開大学であり学部には入学試験がないこともあって、他の一般大学に比して学生集団は多様で流動的であり、そこに一定のまとまった特性を求めることは難しい。授業評価で得られた結果も他の大学よりはるかに分散が大きいことが容易に予想される。したがって、たとえ結果を得たとしても、どの層の学生をターゲットとして授業改善をしていったらよいのか、必ずしも明確ではないのである。事実、過去の数次にわたる授業調査で毎回見られることであるが、例えば、「放送授業と印刷教材はできるだけ同一の内容に」と「放送授業と印刷教材の内容が同じでは別の教材である意味がない」とは、常に同じくらい多く書かれる意見である。もちろん、そうした意見の平均や中間点を採用してもあまり意味がないことは言うまでもない。

そして、第4に、放送大学は教員の5年任期制を採っており、再任のためには5年ごとの内部審査の通過が必要とされることである。そのため、個々の教員の評価にストレートに結びつきがちな授業評価の実施に対しては、当初より慎重論も決して少なくなかった。したがって、上述した第3の特性を持つ授業評価に関しては、授業改善あるいはカリキュラム改善のためにのみ結果を用いる、という確たる合意が必要とされるのである。

I-2. 構成と内容

今回の学生による授業評価調査は、大きく分けて3つの部分からなっている。

第1は、当該科目の放送授業、印刷教材、単位認定試験等について4段階で評価する26項目の評定尺度質問である。その内容は、まず放送授業に関する評価、次いで印刷教材に関する評価、通信指導・単位認定試験に関する評価、そして全体評価と満足感である。その細目は「学習への取り組み状況」「放送授業の視聴状況、難しさ、分量の多さ」「講師の説明の分かりやすさ、熱意」「テレビまたはラジオに適した内容」「印刷教材の難しさ、分量の多さ、内容の適切さ」「通信指導のコメントの適切さ」「単位認定試験の適切さ」「興味・関心・知識の向上」「全体的な理解のしやすさ」そして「全体的な満足感」といったものである。

第2は、当該科目のよかった点、改善すべきだと感じた点、本学の教育システム全般への意見に関する質問であり、自由に記述してもらった形態を採った。

そして、第3は回答者の属性に関する質問である。実際に使用した調査票については111、112頁を参照されたい。

I-3. 方法と展開

評価の対象としたのは、平成19年度第1学期に本学で開講していた学部284科目、大学院67科目、計351科目の放送授業のうち、開講2年目の科目、学部57科目、大学院

26科目、計83科目である（表1-1参照）。開講2年目の科目を対象としたのは、3年目以降の科目ではすでに次期に向けての改訂作業が進められていて授業改善という目的に十分役立てることができず、また開講したばかりの1年目の科目では結果が出て改訂までに間が空きすぎる等、本学の科目作成の特殊事情を勘案してのことであるが、このような選定システムにすることで、開設後4年間継続して放送することとされている全科目が、開講期間中に必ず1回授業評価の対象とされることになる。

調査票の配布は、それら83科目の全受講登録者を母集団とし、学部科目では各250名（登録者がそれ未満の科目は全数）、大学院科目では各200名（同）をそれぞれ無作為抽出して得られた学部13,837名、大学院4,210名、計18,047名（いずれも延べ人数）に、回答すべき科目を予め指定した上で、郵送により行なった。

表1-1 評価対象科目数及び有効回答数

【学部】

専攻	科目数		有効回答					
	平成19年度		平成19年度		平成18年度		平成17年度	
	全開設	評価対象	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
生活と福祉	39	8	649	13%	366	12%	790	9%
発達と教育	39	11	1,046	20%	466	15%	809	9%
社会と経済	41	5	448	9%	895	29%	749	8%
産業と技術	35	8	677	13%	-	-	1,833	20%
人間の探究	74	19	1,786	35%	1,025	33%	2,582	29%
自然の理解	42	6	526	10%	326	11%	2,210	25%
基礎科目	14	0	-	-	-	-	-	-
全体	284	57	5,132	100%	3,078	100%	8,973	100%

※構成比は、四捨五入しているため、各項目を合計しても100%にならない場合がある。

【大学院】

プログラム(群)	科目数		有効回答数			
	平成19年度		平成19年度		平成18年度	
	全開設	評価対象	人数	構成比	人数	構成比
総合文化(文化情報科学群)	17	6	442	23%	512	32%
総合文化(環境システム科学群)	13	5	344	18%	439	28%
政策経営	17	7	487	25%	265	17%
教育開発	14	6	476	25%	201	13%
臨床心理	6	2	172	9%	172	11%
全体	67	26	1,921	100%	1,589	100%

※構成比は、四捨五入しているため、各項目を合計しても100%にならない場合がある。

また、回収も郵送により行ない、調査期間は第1学期単位認定試験終了直後から8月

下旬までの約 1 ヶ月間とした。有効回答数は学部 5,132 票、大学院 1,921 票、計 7,053 票であった(表 1-1 参照)。無記名調査ながら、有効回答率は学部 37.1%、大学院 45.6%、全体で 39.1%と低めであった。回収率の低さの要因はさまざまに考えられるが、昨年度と同様に科目登録者数や調査日程の関係から単位認定試験未受験者に対しても調査票を配付していることが回収率の低さの大きな要因の一つと思われる。なお、昨年度の有効回答率(学部 38.4%、大学院 46.4%)と比較すると、学部で 1.3 ポイント、大学院で 0.8 ポイント下がっている。昨年度との差は僅かであるため、調査日程等による単なる誤差なのか、学生あるいは科目、授業内容の違いの影響があるのかは、今後の調査結果を検討した上で判断する必要がある。

I-4. 時系列分析

今回の授業評価は、昨年度と同じ質問で実施したため、報告書の一部に昨年度調査との比較を掲載した。ただし、本調査は原則として開講 2 年目の科目を対象とするため、調査対象科目は年度ごとに異なっているという事情がある。本来ならば、時系列分析は同一の科目同士あるいは同一科目から構成される専攻(プログラム)を比較対象としてこそその意義が発揮されるが、対象科目は異なるとはいえ、年度ごとに開設された放送授業の全体的な傾向及びその方向性を見る上では参考になると思われる。なお、第 1 回目の一昨年度の調査は、今回とは質問内容が異なる項目が多くあったため、時系列比較には入れていない。

I-5. 回答者の特性

(1) 回答者の属性分布と母集団との比較

回答者の属性分布は、次頁の表 1-2 に示したとおりである。母集団(全受講登録者)の分布と比較すると、学部では性別の偏りは少ないが、年齢階層では 50 代以上の比率が高くなっている。また学生種別では、母集団と比べ全科履修生の比率が若干高く、選科履修生の比率が低くなっている。一方、大学院は、性別では男性、年齢階層では 60 代以上、さらに学生種では修士全科生の比率が、母集団のもの比べて高くなっている。それぞれの属性別分析をする場合には問題はないが、全体の結果等を見る場合には、このような属性の偏りも考慮する必要がある。なお、ここで比率が高いからと言っても、それらの属性の回答率が高いことをただちに意味するものではないので注意していただきたい。たとえば、たまたま今回は男性の比率が多い科目が対象になったため、男性に偏った属性分布になっているということもありうるからである。

表 1 - 2 回答者の属性分布

【学部】

		19年度			18年度			17年度		
		回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団と の差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団と の差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団と の差
性別	男性	42.1%	42.2%	▲0.1%	42.9%	42.3%	0.6%	51.9%	42.0%	9.9%
	女性	55.7%	57.8%	▲2.1%	51.5%	57.7%	▲6.2%	44.4%	58.0%	▲13.6%
年齢階層別	19歳以下	0.4%	2.4%	▲2.0%	0.6%	1.2%	▲0.6%	0.7%	1.2%	▲0.5%
	20～29歳	11.4%	15.9%	▲4.5%	11.2%	15.8%	▲4.6%	14.1%	17.2%	▲3.1%
	30～39歳	20.5%	26.7%	▲6.2%	19.5%	27.9%	▲8.4%	19.4%	28.2%	▲8.8%
	40～49歳	20.7%	23.1%	▲2.4%	20.0%	23.4%	▲3.4%	17.0%	22.6%	▲5.6%
	50～59歳	20.8%	17.8%	3.0%	20.0%	18.0%	2.0%	20.2%	17.4%	2.8%
	60～69歳	16.4%	14.1%	10.1%	18.6%	13.7%	13.1%	19.3%	13.4%	13.6%
	70歳以上	7.8%			8.2%			7.7%		
学生種別	全科履修生	72.7%	69.6%	3.1%	71.4%	69.1%	2.3%	75.2%	68.4%	6.8%
	選科履修生	16.8%	22.5%	▲5.7%	18.9%	21.5%	▲2.6%	16.2%	21.9%	▲5.7%
	科目履修生	7.0%	7.9%	▲0.9%	6.7%	9.4%	▲2.7%	6.9%	9.7%	▲2.8%
人数(N)		5,132		-	3,078		-	8,973		-

※回答者については、無回答があるため、合計は100%にはならない。

【大学院】

		19年度			18年度		
		回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団と の差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団と の差
性別	男性	57.9%	55.9%	2.0%	56.7%	54.3%	2.4%
	女性	38.9%	44.1%	▲5.2%	36.1%	45.7%	▲9.6%
年齢階層別	20～29歳	3.6%	6.1%	▲2.5%	4.8%	7.0%	▲2.2%
	30～39歳	19.1%	21.0%	▲1.9%	18.1%	22.0%	▲3.9%
	40～49歳	27.6%	31.8%	▲4.2%	27.1%	32.4%	▲5.3%
	50～59歳	25.0%	25.4%	▲0.4%	22.8%	24.6%	▲1.8%
	60～69歳	15.9%	15.7%	6.7%	15.9%	14.0%	11.3%
70歳以上	6.5%	9.4%					
学生種別	修士全科生	31.7%	21.6%	10.1%	31.0%	19.7%	11.3%
	修士選科生	52.3%	65.1%	▲12.8%	52.4%	63.4%	▲11.0%
	修士科目生	13.4%	13.2%	0.2%	13.1%	16.9%	▲3.8%
人数(N)		1,921		-	1,589		-

※回答者については、無回答があるため、合計は100%にはならない。

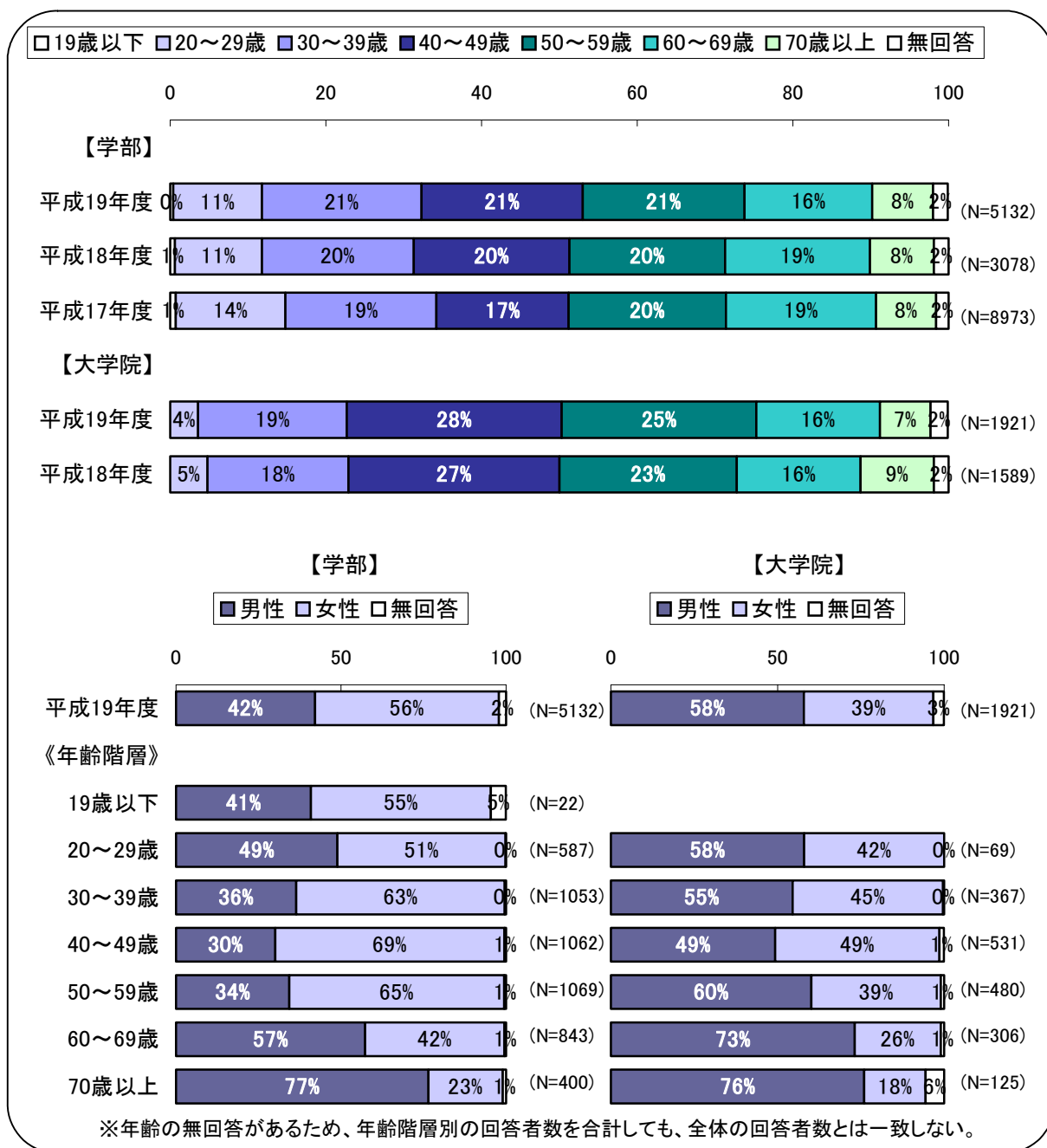
以下、今回の評価結果を分析する上で、回答者の特性からみて留意すべき点を明らかにするために、回答者の属性についてさらに見ていくことにする。

(2) 年齢階層別・性別回答者

年齢階層別に回答者の分布を見ると(図1-1)、学部では30代~60代が中心であり、30代~50代がほぼ均等、60代がそれよりやや少ない分布になっている。昨年に比べ60代が若干少ない構成となっている。大学院も30代~60代が中心であるが、学部と比べると40代・50代の割合が多くなっている。昨年度とは大きくは変わっていない。

性別は学部では男性42%、女性56%となっており、特に30代~50代では女性が多く、60代以上では逆に男性の割合が多くなっている。大学院は、男性58%、女性39%と男性の比率が高い。学部と同じく、若い年代及び高齢者ほど男性が多くなっており、年齢別の分析の際には、これらの性別構成も念頭に置く必要がある。

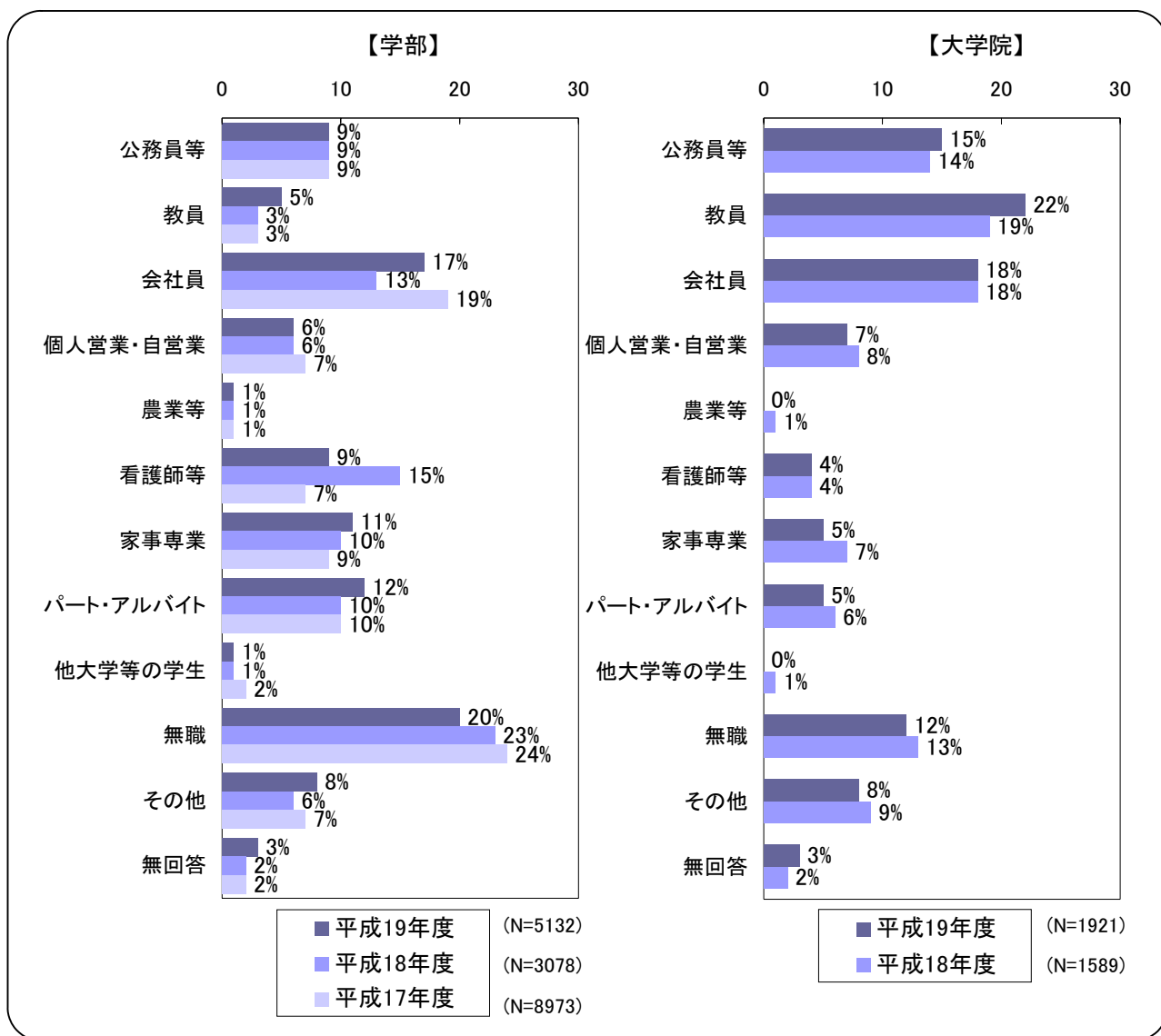
図1-1 年齢階層別・性別回答者



(3) 職業別回答者

職業別に回答者の分布を見ると（図1-2）、学部では無職層が20%と最も多く、次いで会社員17%、パート・アルバイト12%、家事専業11%、公務員等9%、看護師等9%等となっており、有職者（パート・アルバイト含む）は全体の7割程度を占めている。一方、大学院では、教員が22%で最も多く、次いで会社員18%、公務員等15%、無職12%等が多くなっており、有職者は8割程度を占める。

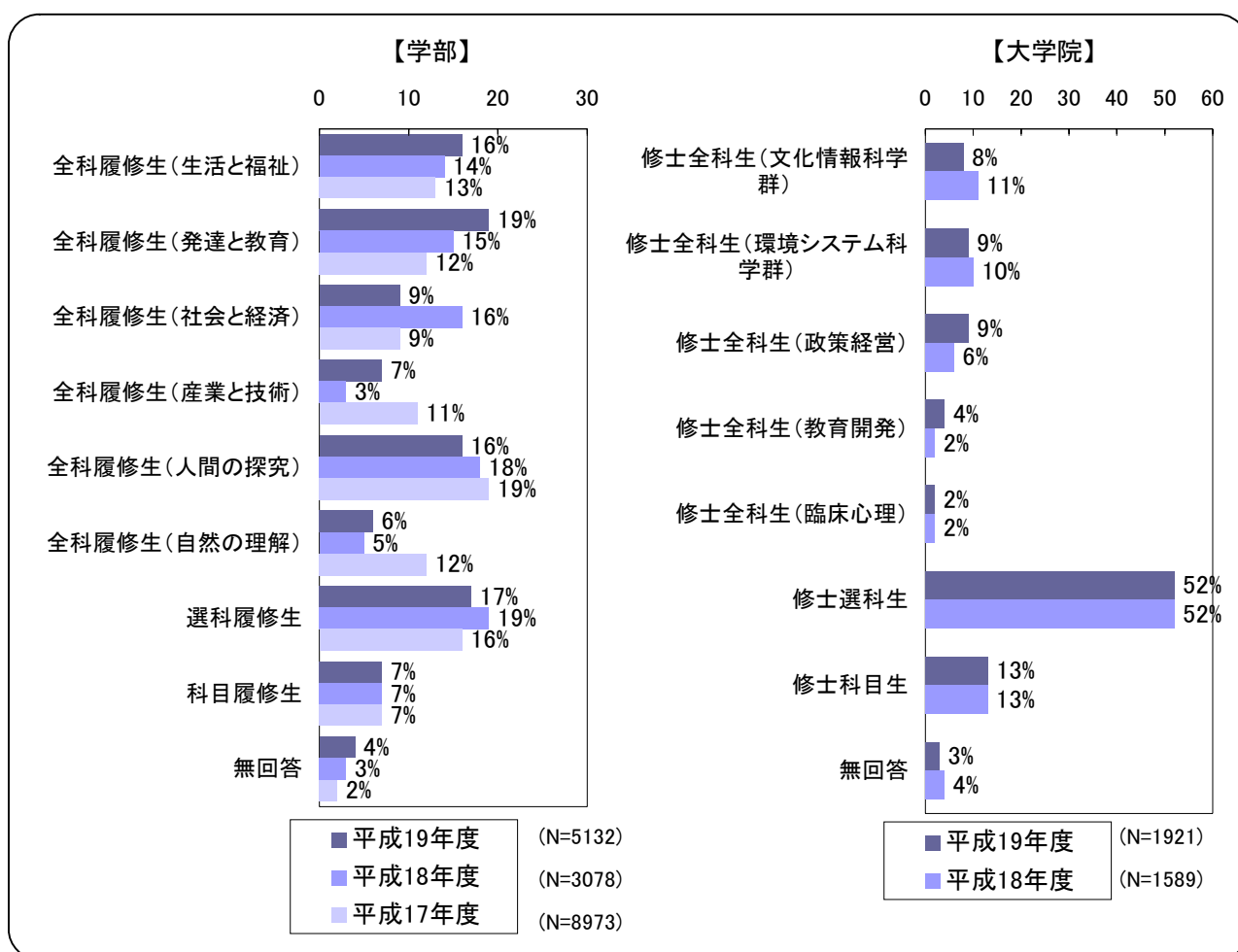
図1-2 職業別回答者



(4) 所属専攻別回答者

次に学生の所属専攻別の分布を見ると（図1-3）、学部では全科履修生の「生活と福祉」「発達と教育」「人間の探究」及び選科履修生が16～19%でほぼ同じような割合を占めており、「社会と経済」「産業と技術」「自然の理解」及び科目履修生はそれぞれ10%以下と低くなっている。大学院では昨年度とほぼ同様の構成比となっており、修士選科生が半数を占めている。

図1-3 学生の所属専攻別回答者



I-6. 評価結果の提供と公表

I-6-1. 評価結果の提供

本授業評価は、先にも掲げたように「個別授業科目の改善支援」「カリキュラム全体の改善支援」「認証評価に関わる資料提供」という三つの大きな目的のもとに企画され、実施された。そのことを勘案した授業評価小委員会（以下「小委員会」という。）での検討の結果、得られたデータは次のように資料提供されることとなった。

- (1) 当該科目を担当した主任講師への提供……担当科目の詳細な評価結果を主任講師に提供する。担当科目の評価結果には、担当科目と比較可能な全科目平均等及び自由記述部分が含まれる。
- (2) 専攻主任及びプログラム・コーディネーターへの提供……全ての専攻・プログラムに対して、その関係する資料一式を提供する。
- (3) 教授会及び教育課程編成委員会等関連委員会への提供……大学全体のカリキュラム編成に関しての検討や意志決定に際しての資料とするため、教授会及び各委員会に提供する。

実際に主任講師等へ提供した個別科目に関する資料の内容は、10頁～15頁の「提供資料サンプル」に示した通りである。

I-6-2. 評価結果の公表

さて、収集された授業評価の結果を授業改善の目的で用いるのはもちろんであるが、それに加えて、現在では大学の社会的責務として評価結果の公表が強く求められているところである。小委員会では、その問題に関しても詳細に検討した。その結果、以下のような合意に達し、それを基本的な方針とすることが決められた。

(1) 公表への基本姿勢

授業評価の結果については、基本的にできる限り広く社会に提示することが必要である。放送大学に課せられた社会的使命、教育体系全体における位置付け、そして納税者国民への説明責任等を勘案するならば、言うまでもなくそれが理の当然である。そこで、当面は以下に示すような形態で公表を行っていくこととする。

(2) 公表する内容

以下のデータに関して公表することとする。

- ① 調査の概要 : 授業評価の目的、方法、実施時期、調査対象者数、調査票等
- ② 回答者の概要 : 基本属性別に見た有効回答者数
- ③ 評点平均 : 全対象科目を総計した結果について、回答者の属性別、科目の分野別、メディア別等の各設問の評点平均値
- ④ 自由記述の概略 : 特徴的・代表的な記述

(3) 公表の方法

(2)の内容について、放送大学ホームページ及び広報誌「On Air」紙上等で適宜公表することを基本とする。

提供資料サンプル【学部】

学部 平成19年度学生による授業評価の調査結果(単純集計)

専攻名 ○○○○

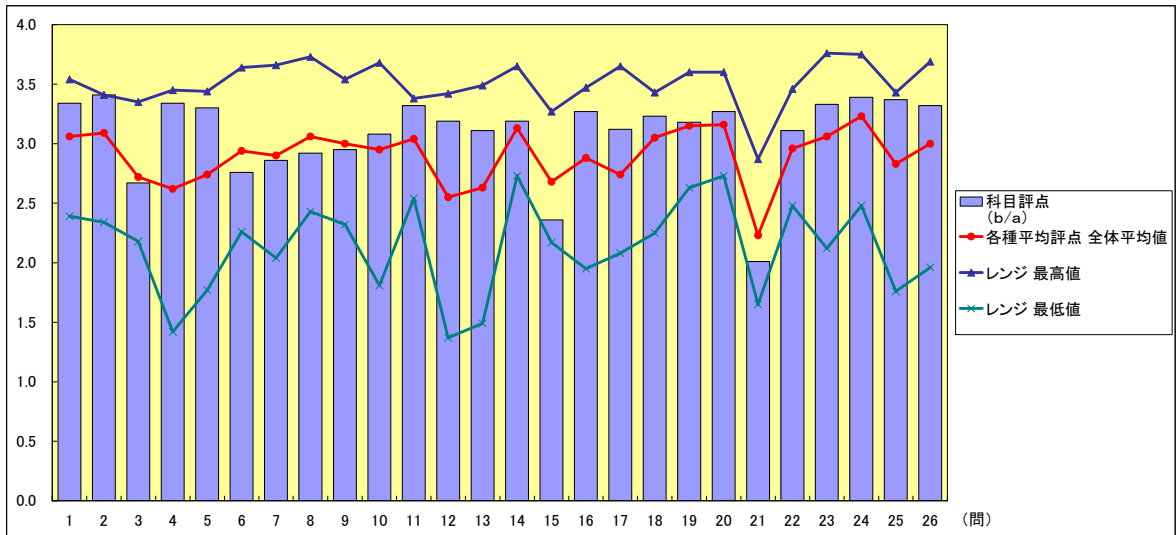
科目名(コード): ○○○○ (R) 教員氏名: ○○○

1. 各設問における評点

設問内容	有効回答 (a)	評点合計 (b)	科目評点 (b/a)	各種平均評点			レンジ	
				全体平均値	TV又はRのみ	同一専攻のみ	最高値	最低値
問 1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ。	77	257	3.34	3.06	3.02	3.04	3.54	2.39
問 2 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った。	76	259	3.41	3.09	3.10	3.16	3.41	2.34
問 3 放送授業を十分に視聴した。	79	211	2.67	2.72	2.57	2.55	3.35	2.18
問 4 自分にとって放送授業の内容は難しすぎると感じた。	76	254	3.34	2.62	2.65	2.70	3.45	1.42
問 5 放送授業の内容は分量が多すぎると感じた。	76	251	3.30	2.74	2.74	2.81	3.44	1.77
問 6 放送授業は印刷教材や台本を読んでいるだけという印象で物足りなかった。	76	210	2.76	2.94	2.79	2.88	3.64	2.26
問 7 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった。	74	212	2.86	2.90	2.84	2.77	3.66	2.04
問 8 講師の熱意が十分に伝わった。	75	219	2.92	3.06	2.98	2.88	3.73	2.43
問 9 放送授業は教材としてよくできていると感じた。	75	221	2.95	3.00	2.93	2.91	3.54	2.32
問10 (この科目がテレビ科目の場合)テレビの特性が十分に生かされていると感じた。 (この科目がラジオ科目の場合)映像がなくても十分理解できる内容だと感じた。	74	228	3.08	2.95	2.72	2.93	3.68	1.81
問11 印刷教材を熱心に学習した。	79	262	3.32	3.04	3.09	3.07	3.38	2.54
問12 自分にとって印刷教材の内容は難しすぎると感じた。	79	252	3.19	2.55	2.57	2.59	3.42	1.37
問13 印刷教材の内容は分量が多すぎると感じた。	79	246	3.11	2.63	2.64	2.62	3.49	1.49
問14 印刷教材と放送授業との内容的な関連性は適切だった。	75	239	3.19	3.13	3.09	3.04	3.65	2.73
問15 印刷教材と放送授業には重複が多いと感じた。	76	179	2.36	2.68	2.61	2.60	3.27	2.17
問16 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった。	78	255	3.27	2.88	2.89	2.94	3.47	1.95
問17 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った。	78	243	3.12	2.74	2.64	2.98	3.65	2.08
問18 印刷教材は教材としてよくできていると感じた。	79	255	3.23	3.05	3.07	3.13	3.43	2.25
問19 通信指導のコメントは納得のいくものだった。	78	248	3.18	3.15	3.13	3.05	3.60	2.63
問20 通信指導は学習内容の理解に役立った。	79	258	3.27	3.16	3.16	3.06	3.60	2.73
問21 単位認定試験にはほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ。	77	155	2.01	2.23	2.07	2.12	2.87	1.65
問22 単位認定試験の問題は科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった。	76	236	3.11	2.96	3.02	2.94	3.46	2.48
問23 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった。	79	263	3.33	3.06	3.04	3.03	3.76	2.12
問24 新しい知識が身につく視野が広がった。	79	268	3.39	3.23	3.25	3.29	3.75	2.48
問25 この科目の内容を全体としてよく理解できた。	79	266	3.37	2.83	2.85	2.89	3.43	1.76
問26 この科目の内容には全体として満足している。	79	262	3.32	3.00	3.01	2.99	3.69	1.96

(注) 1. 評点については、調査票の選択肢「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」としている。但し、設問4、5、6、12、13、15、21については、評価基準が逆であるため、数値を逆転して集計している。

(評点)



2. 回答者の属性

(単位:人)

学生種別	全科履修生								選科履修生	科目履修生	無回答	計	
	生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探求	自然の理解	【小計】						
	41	15	4	1	9	0	70	5	3	1	79		
性別	男性	女性	無回答		計								
	18	60	1		79								
年齢	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	無回答	計				
	0	4	18	13	23	18	2	1	79				
職業	公務員等	教員	会社員	個人営業・自営業	農業等	看護師等	家事専業	パート・アルバイト	他大学等の学生	無職	その他	無回答	計
	8	2	13	6	2	9	12	11	0	11	3	2	79
通信指導・単位認定試験	単位認定試験		通信指導		計								
	受験	未受験	未提出	無回答	79								
	74	4	0	1									

学部

平成19年度学生による授業評価の調査結果(属性別クロス集計)

		問1						問2						問3						
		評点平均	選択肢別の回答割合					評点平均	選択肢別の回答割合					評点平均	選択肢別の回答割合					
			4	3	2	1	無回答		4	3	2	1	無回答		4	3	2	1	無回答	
学生種別	全科履修生	生活と福祉	3.40	49%	39%	10%	0%	2%	3.53	56%	37%	5%	0%	2%	2.73	37%	20%	24%	20%	0%
		発達と教育	3.27	33%	60%	7%	0%	0%	3.27	27%	73%	0%	0%	0%	2.07	7%	13%	60%	20%	0%
		社会と経済	3.00	25%	50%	25%	0%	0%	3.00	25%	50%	25%	0%	0%	2.75	25%	50%	0%	25%	0%
		産業と技術	3.00	0%	100%	0%	0%	0%	3.00	0%	100%	0%	0%	0%	2.00	0%	0%	100%	0%	0%
		人間の探究	3.75	67%	22%	0%	0%	11%	3.57	44%	33%	0%	0%	22%	3.11	33%	56%	0%	11%	0%
		自然の理解	0.00	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0%	0%	0%	0%	0%
		【小計】	3.38	46%	43%	9%	0%	3%	3.43	46%	46%	4%	0%	4%	2.63	29%	24%	29%	19%	0%
	選科履修生	3.40	40%	60%	0%	0%	0%	3.40	40%	60%	0%	0%	0%	3.20	20%	80%	0%	0%	0%	
	科目履修生	2.67	33%	33%	0%	33%	0%	3.00	67%	0%	0%	33%	0%	3.00	33%	33%	33%	0%	0%	
	無回答	2.00	0%	0%	100%	0%	0%	3.00	0%	100%	0%	0%	0%	2.00	0%	0%	100%	0%	0%	
	計	3.34	44%	43%	9%	1%	3%	3.41	46%	46%	4%	1%	4%	2.67	28%	28%	28%	17%	0%	
	性別	男性	3.47	50%	39%	6%	0%	6%	3.50	50%	33%	6%	0%	11%	2.72	28%	39%	11%	22%	0%
女性		3.32	43%	45%	8%	2%	2%	3.39	45%	48%	3%	2%	2%	2.67	28%	25%	32%	15%	0%	
無回答		2.00	0%	0%	100%	0%	0%	3.00	0%	100%	0%	0%	0%	2.00	0%	0%	100%	0%	0%	
計		3.34	44%	43%	9%	1%	3%	3.41	46%	46%	4%	1%	4%	2.67	28%	28%	28%	17%	0%	
年齢	19歳以下	0.00	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0%	0%	0%	0%	0%	
	20～29歳	3.50	50%	50%	0%	0%	0%	3.50	50%	50%	0%	0%	0%	3.00	50%	0%	50%	0%	0%	
	30～39歳	3.11	28%	56%	17%	0%	0%	3.50	50%	50%	0%	0%	0%	2.17	11%	22%	39%	28%	0%	
	40～49歳	3.69	69%	31%	0%	0%	0%	3.62	62%	39%	0%	0%	0%	2.77	31%	31%	23%	15%	0%	
	50～59歳	3.26	39%	48%	13%	0%	0%	3.26	35%	57%	9%	0%	0%	2.61	26%	26%	30%	17%	0%	
	60～69歳	3.41	50%	39%	0%	6%	6%	3.35	50%	33%	6%	6%	6%	3.17	39%	44%	11%	6%	0%	
	70歳以上	4.00	50%	0%	0%	0%	50%	0.00	0%	0%	0%	100%	2.50	50%	0%	0%	50%	0%		
	無回答	2.00	0%	0%	100%	0%	0%	3.00	0%	100%	0%	0%	0%	2.00	0%	0%	100%	0%	0%	
計	3.34	44%	43%	9%	1%	3%	3.41	46%	46%	4%	1%	4%	2.67	28%	28%	28%	17%	0%		
職業	公務員等	3.50	50%	50%	0%	0%	0%	3.50	50%	50%	0%	0%	0%	2.63	13%	38%	50%	0%	0%	
	教員	3.50	50%	50%	0%	0%	0%	3.50	50%	50%	0%	0%	0%	1.50	0%	0%	50%	50%	0%	
	会社員	3.31	39%	54%	8%	0%	0%	3.46	46%	54%	0%	0%	0%	2.46	31%	15%	23%	31%	0%	
	個人営業・自営業	3.33	50%	33%	17%	0%	0%	3.50	67%	17%	17%	0%	0%	2.83	17%	67%	0%	17%	0%	
	農業等	3.50	50%	50%	0%	0%	0%	4.00	100%	0%	0%	0%	0%	3.50	50%	50%	0%	0%	0%	
	看護師等	2.89	22%	44%	33%	0%	0%	3.33	33%	67%	0%	0%	0%	1.56	0%	0%	56%	44%	0%	
	家事専業	3.67	67%	33%	0%	0%	0%	3.33	42%	50%	8%	0%	0%	3.25	42%	42%	17%	0%	0%	
	パート・アルバイト	3.27	36%	55%	9%	0%	0%	3.36	46%	46%	9%	0%	0%	3.00	46%	18%	27%	9%	0%	
	他大学等の学生	0.00	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0%	0%	0%	0%	0%	
	無職	3.33	46%	27%	0%	9%	18%	3.25	36%	27%	0%	9%	27%	3.09	46%	27%	18%	9%	0%	
	その他	3.33	33%	67%	0%	0%	0%	3.33	33%	67%	0%	0%	0%	2.33	0%	67%	0%	33%	0%	
	無回答	3.00	50%	0%	50%	0%	0%	3.50	50%	50%	0%	0%	0%	2.00	0%	0%	100%	0%	0%	
	計	3.34	44%	43%	9%	1%	3%	3.41	46%	46%	4%	1%	4%	2.67	28%	28%	28%	17%	0%	
試験 通信指導・単位認定	単試験認定	3.35	43%	46%	7%	1%	3%	3.41	46%	45%	4%	1%	4%	2.66	28%	27%	27%	18%	0%	
	未受験	3.50	75%	0%	25%	0%	0%	3.50	50%	50%	0%	0%	0%	3.00	25%	50%	25%	0%	0%	
	通信指導未提出	0.00	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0%	0%	0%	0%	0%	
	無回答	2.00	0%	0%	100%	0%	0%	3.00	0%	100%	0%	0%	0%	2.00	0%	0%	100%	0%	0%	
	計	3.34	44%	43%	9%	1%	3%	3.41	46%	46%	4%	1%	4%	2.67	28%	28%	28%	17%	0%	

(注) 1. 評点については、調査票の選択肢「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」としている。
 但し、設問4、5、6、12、13、15、21については、評価基準が逆であるため、数値を逆転して集計している。
 2. 各問の「選択肢別の回答割合」については、少数点第一位を四捨五入しているため、必ずしも100%になるとは限らない。

II. 次の点について、ご自由にお書きください。

(1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

幅広い知識を習得できた。放送授業と印刷教材でリンクした題材ばかりではなかったので、放送授業も楽しく視聴できた。よく練られていたと思う。

(2) この科目を受講して改善すべきだと感じた点をお書きください。

印刷教材について、もう少しポイントをまとめる等、見やすく、分かりやすいものにして頂きたいと思った。厳しいようだが、何が書いてあるのかが分かりにくく、だらだら書かれています。熱意は伝わった。

(3) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

放送大学のシステムは非常によくできていると思っている。私は以前、20代の頃に他大学の通信教育を受けたが、1週間のスクーリングは勤め人には時間が取れず断念した。夜、または週末を利用した貴校の面接授業はとても受講しやすく、放送授業もビデオに予約録画する方法で学習できた。

III. この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。(あてはまる番号に○を付けてください。)

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
3. 通信指導を提出しなかった。

IV. あなたご自身についてお答えください。(あてはまる番号にそれぞれ○を付けてください。)

(1) 学生種別	全科履修生 (1. 生活と福祉 2. 発達と教育 3. 社会と経済 4. 産業と技術 5. 人間の探究 6. 自然の理解) 7. 選科履修生 8. 科目履修生
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業 5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他 ()

どうもありがとうございました。

提供資料サンプル【大学院】

大学院 平成19年度学生による授業評価の調査結果(単純集計)

プログラム名 ○○○○

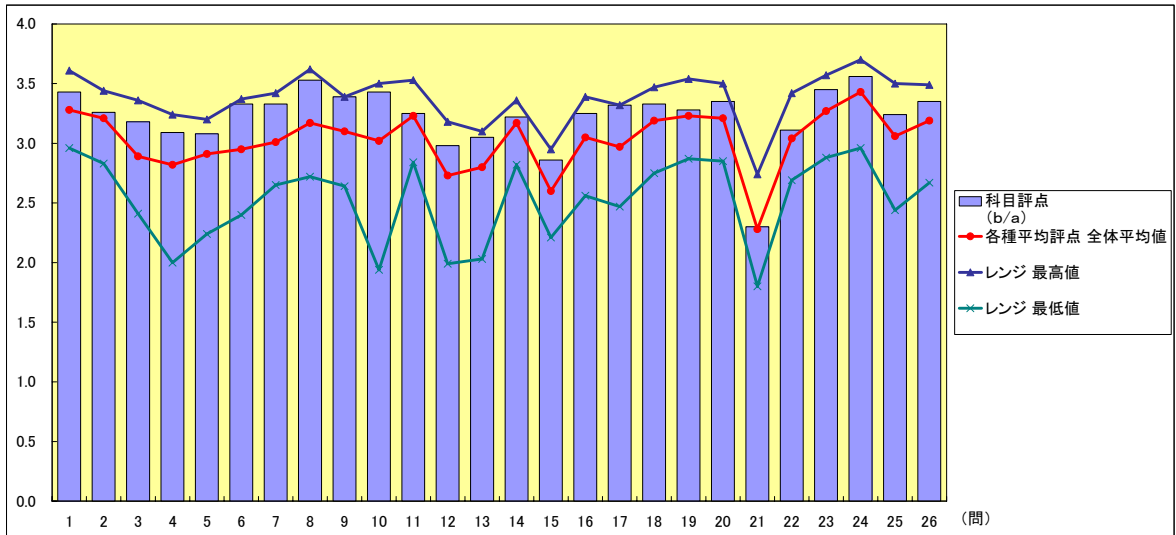
科目名(コード): ○○○○ (TV) 教員氏名: ○○○

1. 各設問における評点

設問内容	有効回答 (a)	評点合計 (b)	科目評点 (b/a)	各種平均評点			レンジ	
				全体平均値	TV又はRのみ	同一プログラムのみ	最高値	最低値
問 1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ。	84	288	3.43	3.28	3.33	3.36	3.61	2.96
問 2 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った。	84	274	3.26	3.21	3.19	3.26	3.44	2.83
問 3 放送授業を十分に視聴した。	83	264	3.18	2.89	3.02	3.06	3.36	2.41
問 4 自分にとって放送授業の内容は難しすぎると感じた。	80	247	3.09	2.82	2.83	2.86	3.24	2.00
問 5 放送授業の内容は分量が多すぎると感じた。	79	243	3.08	2.91	2.88	2.96	3.20	2.24
問 6 放送授業は印刷教材や台本を読んでいるだけという印象で物足りなかった。	80	266	3.33	2.95	3.12	2.88	3.37	2.40
問 7 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった。	80	266	3.33	3.01	3.10	3.08	3.42	2.65
問 8 講師の熱意が十分に伝わった。	80	282	3.53	3.17	3.28	3.26	3.62	2.72
問 9 放送授業は教材としてよくできていると感じた。	80	271	3.39	3.10	3.20	3.19	3.39	2.64
問10 (この科目がテレビ科目の場合)テレビの特性が十分に生かされていると感じた。 (この科目がラジオ科目の場合)映像がなくても十分理解できる内容だと感じた。	79	271	3.43	3.02	3.20	3.14	3.50	1.94
問11 印刷教材を熱心に学習した。	84	273	3.25	3.23	3.23	3.31	3.53	2.84
問12 自分にとって印刷教材の内容は難しすぎると感じた。	83	247	2.98	2.73	2.72	2.79	3.18	1.99
問13 印刷教材の内容は分量が多すぎると感じた。	83	253	3.05	2.80	2.75	2.88	3.10	2.03
問14 印刷教材と放送授業との内容的な関連性は適切だった。	79	254	3.22	3.17	3.21	3.20	3.36	2.82
問15 印刷教材と放送授業には重複が多いと感じた。	81	232	2.86	2.60	2.71	2.55	2.95	2.21
問16 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった。	84	273	3.25	3.05	3.05	3.08	3.39	2.56
問17 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った。	82	272	3.32	2.97	3.10	3.03	3.32	2.47
問18 印刷教材は教材としてよくできていると感じた。	84	280	3.33	3.19	3.20	3.27	3.47	2.75
問19 通信指導のコメントは納得いくものだった。	81	266	3.28	3.23	3.26	3.27	3.54	2.87
問20 通信指導は学習内容の理解に役立った。	83	278	3.35	3.21	3.22	3.24	3.50	2.85
問21 単位認定試験にはほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ。	80	184	2.30	2.28	2.43	2.27	2.74	1.80
問22 単位認定試験の問題は科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった。	80	249	3.11	3.04	3.00	3.12	3.42	2.69
問23 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった。	83	286	3.45	3.27	3.34	3.36	3.57	2.88
問24 新しい知識が身につく視野が広がった。	84	299	3.56	3.43	3.49	3.51	3.70	2.96
問25 この科目の内容を全体としてよく理解できた。	84	272	3.24	3.06	3.09	3.12	3.50	2.44
問26 この科目の内容には全体として満足している。	84	281	3.35	3.19	3.20	3.24	3.49	2.67

(注) 1. 評点については、調査票の選択肢「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」としている。但し、設問4、5、6、12、13、15、21については、評価基準が逆であるため、数値を逆転して集計している。

(評点)



2. 回答者の属性

(単位:人)

学生種別	修士全科生						修士選科生	修士科目生	無回答	計			
	文化情報科学群	環境システム科学群	政策経営	教育開発	臨床心理	【小計】							
	23	7	5	0	0	35	40	7	2	84			
性別	男性	女性	無回答	計									
	64	18	2	84									
年齢	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	無回答	計				
	0	2	11	19	21	22	7	2	84				
職業	公務員等	教員	会社員	個人営業・自営業	農業等	看護師等	家事専業	パート・アルバイト	他大学等の学生	無職	その他	無回答	計
	13	8	20	3	2	0	5	10	1	16	3	3	84
通信指導・単位認定試験	単位認定試験		通信指導		無回答		計						
	受験	未受験	未提出	無回答	計								
	74	5	0	5	84								

大学院

平成19年度学生による授業評価の調査結果(属性別クロス集計)

学生種別	属性	問1						問2						問3						
		評点平均	選択肢別の回答割合					評点平均	選択肢別の回答割合					評点平均	選択肢別の回答割合					
			4	3	2	1	無回答		4	3	2	1	無回答		4	3	2	1	無回答	
学生種別	修士全科生	文化情報科学群	3.43	48%	48%	4%	0%	0%	3.35	39%	57%	4%	0%	0%	3.17	44%	35%	17%	4%	0%
		環境システム科学群	3.29	43%	43%	14%	0%	0%	3.14	29%	57%	14%	0%	0%	3.57	71%	14%	14%	0%	0%
		政策経営	3.40	40%	60%	0%	0%	0%	3.00	20%	60%	20%	0%	0%	3.00	40%	20%	40%	0%	0%
		教育開発	0.00	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0%	0%	0%	0%	0%
		臨床心理	0.00	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0%	0%	0%	0%	0%
		【小計】	3.40	46%	49%	6%	0%	0%	3.26	34%	57%	9%	0%	0%	3.23	49%	29%	20%	3%	0%
	修士選科生	3.40	45%	50%	5%	0%	0%	3.25	35%	55%	10%	0%	0%	3.15	48%	30%	13%	10%	0%	
	修士科目生	3.71	71%	29%	0%	0%	0%	3.14	14%	86%	0%	0%	0%	3.29	57%	29%	0%	14%	0%	
	無回答	3.50	50%	50%	0%	0%	0%	4.00	100%	0%	0%	0%	0%	2.00	0%	0%	50%	0%	50%	
	計	3.43	48%	48%	5%	0%	0%	3.26	35%	57%	8%	0%	0%	3.18	48%	29%	16%	7%	1%	
性別	男性	3.48	52%	45%	3%	0%	0%	3.22	33%	56%	11%	0%	0%	3.30	55%	27%	13%	6%	0%	
	女性	3.22	33%	56%	11%	0%	0%	3.33	33%	67%	0%	0%	0%	2.83	28%	39%	22%	11%	0%	
	無回答	3.50	50%	50%	0%	0%	0%	4.00	100%	0%	0%	0%	0%	2.00	0%	0%	50%	0%	50%	
	計	3.43	48%	48%	5%	0%	0%	3.26	35%	57%	8%	0%	0%	3.18	48%	29%	16%	7%	1%	
年齢	19歳以下	0.00	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0%	0%	0%	0%	0%	
	20～29歳	3.50	50%	50%	0%	0%	0%	3.50	50%	50%	0%	0%	0%	2.50	0%	50%	50%	0%	0%	
	30～39歳	3.55	55%	46%	0%	0%	0%	3.45	46%	55%	0%	0%	0%	2.91	46%	18%	18%	18%	0%	
	40～49歳	3.26	32%	63%	5%	0%	0%	2.95	11%	74%	16%	0%	0%	3.05	32%	53%	5%	11%	0%	
	50～59歳	3.29	38%	52%	10%	0%	0%	3.14	24%	67%	10%	0%	0%	2.95	43%	14%	38%	5%	0%	
	60～69歳	3.55	59%	36%	5%	0%	0%	3.41	46%	50%	5%	0%	0%	3.55	64%	32%	0%	5%	0%	
	70歳以上	3.71	71%	29%	0%	0%	0%	3.43	57%	29%	14%	0%	0%	3.86	86%	14%	0%	0%	0%	
	無回答	3.50	50%	50%	0%	0%	0%	4.00	100%	0%	0%	0%	0%	2.00	0%	0%	50%	0%	50%	
	計	3.43	48%	48%	5%	0%	0%	3.26	35%	57%	8%	0%	0%	3.18	48%	29%	16%	7%	1%	
職業	公務員等	3.15	23%	69%	8%	0%	0%	3.08	23%	62%	15%	0%	0%	2.92	39%	31%	15%	15%	0%	
	教員	3.38	38%	63%	0%	0%	0%	3.38	38%	63%	0%	0%	0%	3.00	50%	13%	25%	13%	0%	
	会社員	3.45	50%	45%	5%	0%	0%	3.25	30%	65%	5%	0%	0%	3.15	50%	20%	25%	5%	0%	
	個人営業・自営業	4.00	100%	0%	0%	0%	0%	3.67	67%	33%	0%	0%	0%	3.67	67%	33%	0%	0%	0%	
	農業等	4.00	100%	0%	0%	0%	0%	3.50	50%	50%	0%	0%	0%	3.50	50%	50%	0%	0%	0%	
	看護師等	0.00	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0%	0%	0%	0%	0%	
	家事専業	3.20	20%	80%	0%	0%	0%	3.20	20%	80%	0%	0%	0%	3.20	40%	40%	20%	0%	0%	
	パート・アルバイト	3.40	50%	40%	10%	0%	0%	3.10	30%	50%	20%	0%	0%	2.90	20%	60%	10%	10%	0%	
	他大学等の学生	4.00	100%	0%	0%	0%	0%	3.00	0%	100%	0%	0%	0%	4.00	100%	0%	0%	0%	0%	
	無職	3.56	63%	31%	6%	0%	0%	3.25	38%	50%	13%	0%	0%	3.69	75%	19%	6%	0%	0%	
	その他	3.00	0%	100%	0%	0%	0%	3.33	33%	67%	0%	0%	0%	2.33	0%	67%	0%	33%	0%	
	無回答	3.67	67%	33%	0%	0%	0%	4.00	100%	0%	0%	0%	0%	3.00	33%	0%	33%	0%	33%	
	計	3.43	48%	48%	5%	0%	0%	3.26	35%	57%	8%	0%	0%	3.18	48%	29%	16%	7%	1%	
試験 通信指導・単位認定	単試験認定	3.43	47%	49%	4%	0%	0%	3.22	31%	60%	10%	0%	0%	3.19	50%	27%	15%	8%	0%	
	未試験認定	3.20	40%	40%	20%	0%	0%	3.40	40%	60%	0%	0%	0%	3.20	40%	40%	20%	0%	0%	
	通信指導未提出	0.00	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0%	0%	0%	0%	0%	
	無回答	3.60	60%	40%	0%	0%	0%	3.80	80%	20%	0%	0%	0%	3.00	20%	40%	20%	0%	20%	
	計	3.43	48%	48%	5%	0%	0%	3.26	35%	57%	8%	0%	0%	3.18	48%	29%	16%	7%	1%	

(注) 1. 評点については、調査票の選択肢「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」としている。
 但し、設問4、5、6、12、13、15、21については、評価基準が逆であるため、数値を逆転して集計している。
 2. 各問の「選択肢別の回答割合」については、少数点第一位を四捨五入しているため、必ずしも100%になるとは限らない。

提供資料サンプル【大学院】

Ⅱ. 次の点について、ご自由にお書きください。

- (1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

学習意欲や興味、関心が高まり、新知識が身につく視野が拡大した。普段何気なく社会生活を送っていたが 視野が拡大し、こうした方向に持っていった方がよりよいではないかといった「考え方」に少し自信がついた。

- (2) この科目を受講して改善すべきだと感じた点をお書きください。

ラジオによる学習は、集中することが困難な場合がある。いかに取り組むかは学習者本人の態度や姿勢に負う点が多いが、「このような上手な学習の仕方がありますよ」といったアドバイスをいただくとありがたい。

- (3) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

生涯学習の重要性が叫ばれている今日、放送大学のように大変優れた講師の先生方を通して、大学院レベルの質の高い授業を受講することができ、又、印刷教材も充実しており、感謝する。放送大学の使命の重要性は、ますます増す事と思う。

Ⅲ. この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。(あてはまる番号に○を付けてください。)

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
3. 通信指導を提出しなかった。

Ⅳ. あなたご自身についてお答えください。(あてはまる番号にそれぞれ○を付けてください。)

(1) 学生種別	修士全科生 (1. 文化情報科学群 2. 環境システム科学群 3. 政策経営 4. 教育開発 5. 臨床心理) 7. 修士選科生 8. 修士科目生
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業 5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他 ()

どうもありがとうございました。